



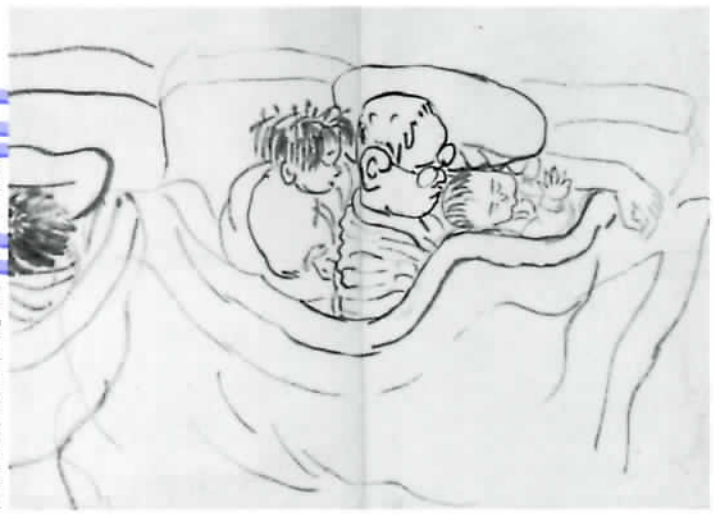
# もっと知りたい

## 武者小路実篤

# 実篤と家族 2

武者小路実篤は安子さんと結婚して、三人の女の子のお父さんになりました。

実篤は、威厳のある父親、ではなくて、子どもといっしょに遊ぶ楽しいパパでした。一家はおたがいによく話し、遠くにいるときも手紙を出し合う、とても仲のいい家族でした。



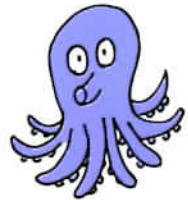
安子夫人ステッチ「子供たちと眠る実篤」昭和4年（1929年）ごろ



実篤から武者小路子供連あて 昭和13年11月23日

おまけに父はふざけん坊で、とても「面白い人」なのだった。（中略）「海岸をずっと歩いていくと、タコが迷児まいごになって泣いているんだ。うちへ来るかって言ったら、ついてきてね。それがタッコなんだ」などというおかしな話をしてくれるので、「ウソよ、ウソよ」と大きわぎになる。それでいて、またそんな変てこなお話を何べんでも聞きたくなるのだった。

（武者小路辰子「ほくろの呼鈴」より「ほくろの呼鈴」）



実篤は仕事で旅行に出かけると、よく旅先から家族へ手紙を出しました。

この手紙は「どの丸が誰への返事か考えてくら」と。ナメナメになっています。左上の丸には「タコタコおどりが見られないでさびしいよ」とタコのイラスト。左下の丸には「ウソクラブ」。楽しい手紙ですね。